

平成 30 年度 第 1 回長崎県がん診療連携拠点病院研修会
(アンケート調査結果)

開催日 平成 30 年 6 月 12 日 (火)

時 間 19 : 00 ~ 20 : 30

場 所 長崎大学病院 第 3 講義室

出席者 56 名 ・ 回答者 29 名

出席者の内訳

施設名 職名	大学病院	長崎みなと メディカルセンター	佐世保総合 医療センター	諫早 総合病院	長崎原爆 病院	他施設	合計
医師	21 名	2 名	0 名	1 名	0 名	1 名	25 名
薬剤師	4 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	4 名
看護師	17 名	0 名	0 名	0 名	0 名	2 名	19 名
MSW	2 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	2 名
放射線技師	1 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名
事務職員	3 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	3 名
その他・不明	1 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名	2 名
合計	49 名	0 名	0 名	0 名	0 名	4 名	56 名

～今回の講演の内容について～

特別講演「若年患者における医原性妊孕能低下への対策と留意点」

① よかったところ

- ・わかりやすかった (医師)
- ・病院での取り組みや妊孕性について知識を深めることができた (看護師)
- ・がんに対して新たに知識を得ることができた (事務職員)
- ・AYA 世代に対する悪性腫瘍について、総評を含め、非常にわかりやすかった (医師)
- ・SLE など良性疾患にも考え方が広がっていることを知ることができた。若年者の化学療法など考えるうえで、重要な点だと認識できた (医師)
- ・当院で具体的にどうすれば相談できるのか、わかりやすかった (医師)
- ・がん治療と妊孕性について少し理解できた (医師)
- ・AYA 世代の置かれている状況から説明があり、理解しやすかった (医師)
- ・妊孕性の基本的な知識からさまざまな温存の手法、実際の運用等広く説明があつて、非常に勉強になり、実臨床にもつなげられると思った (医師)
- ・AYA 世代の妊孕性や ART による成功率、長大的取り組みを知ることができた (看護師)
- ・現在の治療や若年者のがんの動向がわかった (看護師)
- ・妊孕性の温存の現状を知る機会となった (看護師)

- ・知識が深まった（看護師）
- ・産科で勤務しているが、がんと妊孕性の関係についてあまり考えたことがなかった。とても勉強になった（看護師）
- ・北島先生のおっしゃるとおり、長崎市外の病院で妊孕性温存の話を書くことはない印象。相談ができて選択肢が増えたらいいと思った（医師）
- ・妊娠の基本的なところから、どう妊娠にアプローチすべきかがわかりやすかった（看護師）
- ・コンサルトの具体的な方法を示してくださり、実用的な情報提供をいただいたところ（医師）
- ・資料が配付されて、より理解を深めることができた。話がわかりやすかった（看護師）
- ・AYA 世代のさまざまな問題がわかりやすかった（その他）
- ・現在、長崎でどのくらいの妊孕性温存の処置（金額等も含め）ができるのかを知りたかったので、よくわかった（医師）
- ・AYA 世代でどのようなことに気を配りながら妊孕性に注意すべきかがよく理解できた。AYA 世代にも幅広い年齢層があること、成人としてのがん・小児がん治療後の2つがあることが印象的だった（薬剤師）
- ・妊孕性の基礎から化学療法との関係、また年齢との関係についてとても分かりやすくご説明いただけて、とても勉強になった（薬剤師）
- ・分かりやすい内容だった（看護師）

② 気になったところ

- ・見た限り、外部から聴講した婦人科医は私以外にもう一人しかいなかった。周知がなされているか、参加者が増えることを祈る（医師）
- ・主治医となる各グループの Dr. が少なかったことが気になった。私もたまたまポスターを見て気付いたので、もっと Dr. へ声掛けをしたほうがよかったと思った（医師）
- ・小児がん患者のサポート（看護師）
- ・治療について、料金の詳しいことを学びたい。患者の負担がどれくらいになるのか（看護師）
- ・思春期にある方に、どう妊娠（するために数少ない）を伝えるかはよく感がないといけなと思う（看護師）
- ・AYA 世代サバイバーの二次癌の現状が気になった（妊孕性とは関係ないが）（その他）
- ・スマホでスライドを撮っている方がいたのですが問題はなかったか（看護師）

③ 講演に対する要望

- ・個別の症例について、成功例・特例などを聞きたい（医師）
- ・ぜひ大学外の連携施設でも講演をしていただけるとありがたい（医師）
- ・貴重な研修会をありがとうございました（助産師）
- ・AYA 世代、妊孕性以外のことも勉強したい。小児がん拠点病院の現状も学びたい（その他）

◆次回の講演で希望すること

- ・一部の診療科のみではなく、多くの診療科に共通するような話題（テーマ）の講演をお願いしたい（医師）
- ・長崎大学病院での開催を希望する（薬剤師）
- ・ゲノム医療について（看護師）

◆がん診療センターに対するご要望があれば教えてください

- ・がん診療センターの目的に反するとは思いますが、妊孕性温存 WG に良性疾患だけ妊孕性を失うリスクのある、リウマチ膠原病内科のスタッフを加えて情報提供漏れがないようにするのはどうか。ご一考いただけると幸いです（医師）